

第387回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和7年5月28日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

木々の緑が美しい季節となり、特産「山田錦」の田植えが始まろうとしているなか、次第に三木のまちも夏模様へと変わりつつある本日、第387回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ご多用のなか、ご参集をいただき、ここに開会の運びに至りましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

さて、本市では、地球規模の環境問題に対応した脱炭素社会に向けた取組を推進しています。本年3月には、三木市地球温暖化対策実行計画区域施策編・事務事業編を策定し、2030年度までに温室効果ガスを2013年度と比較して48%削減する目標を掲げています。この目標達成に向けた取組として、昨年度に引き続き、来月から省エネ家電への買い替えに係る費用の補助を行います。エネルギー消費性能に優れた家電への買い替えを促進し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減を図るとともに、電気料金高騰による市民生活への影響の軽減も図るものです。本年4月には、

ゼロカーボンシティ宣言を行ったところであり、三木市地球温暖化対策実行計画に基づき取組を推進し、2050年までに二酸化炭素など、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指して取り組んでまいります。

また、三木市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民・事業者・行政の連携により、ごみの減量化及び再資源化も推進しています。来月から、生ごみ処理機器等の購入補助を開始します。生ごみ乾燥機やコンポスト容器の購入を促進し、市民や事業者の環境に対する意識の醸成を図るとともに、更なるごみの減量化を図ります。ごみの減量化は、ごみ処理のコスト削減にもつながるものであり、市としても推進してまいります。省エネ家電の買い替え補助及び生ごみ処理機器等の購入補助については、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組「デコ活」の一環として、市民とともに温室効果ガスの削減及びごみの減量化に取り組んでまいります。

さらに、宿泊施設の誘致や農業分野への企業参入を促進するため、企業立地に対する支援の対象分野を拡大します。

先月開幕した大阪・関西万博やインバウンドによる観光需要の増加、ビジネス利用の拡大により、宿泊施設の要望が多く寄せられています。また、地域計画の策定に向け、10年後の地域の農業のあり

方についての協議の場において、企業の参入を期待する声も聴いています。以上のことから、企業立地に対する支援の対象分野に宿泊業及び農業分野を追加し、これらの分野への企業の参入を促進してまいります。これにより、地域経済及び農村の活性化とともに、雇用の創出につなげてまいります。

来月5日には、消防署吉川分署新庁舎の竣工式を挙ります。多様化する災害に対し、防災力向上を図るため、吉川分署の移転、建替えを進めていたもので、消防団吉川機動隊の器具庫を併設することで消防団との連携を強化するほか、女性専用スペースを整備することで女性職員も働きやすい体制を確保するなど、施設機能を充実させました。地域の防災力を向上させ、市民の安全・安心を守ります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会におきましては、補正予算1件、その他3件の併せて4件の提案を予定いたしております。

また、後日、条例関係2件、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、十分なるご審議をいただき、適

切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつと  
いたします。